

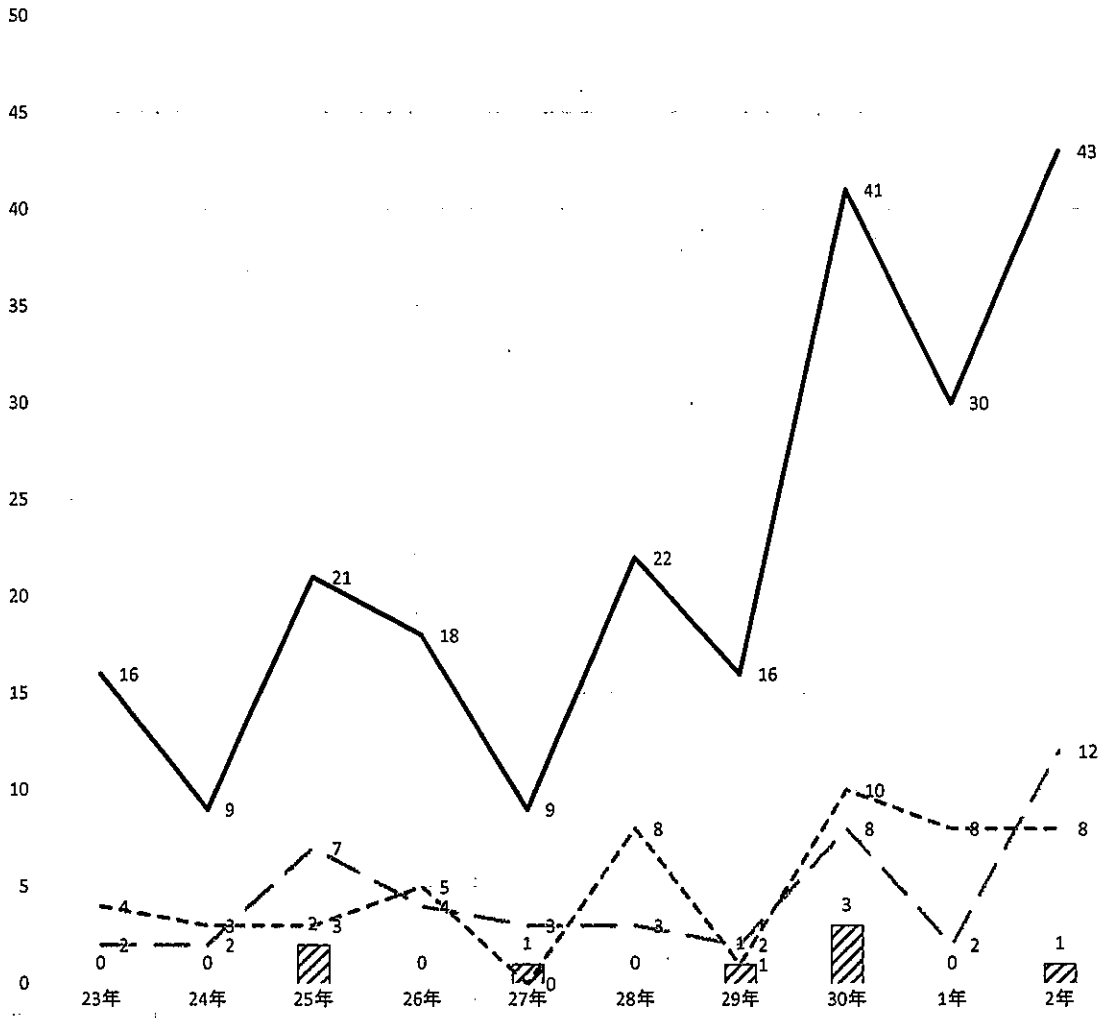
兵庫県における熱中症の発生状況について

令和2年の兵庫県下の事業場における業務上の熱中症の発生状況は、猛暑の影響もあり、令和元年より大幅に増加し、死亡者数及び休業4日以上業務上疾病者の数(以下、合わせて「死傷者数」という。)が、30人から43人となり、前年は0人であった死亡者数も1人なった。(令和3年3月5日現在速報値。以下、同じ。)これは、過去10年間にける熱中症の死傷者数としては最も多いものである。

業種別にみると、建設業12件、製造業8件、運輸交通業5件、商業6件、接客娯楽業4件、警備業2件(うち死亡1件。)となっている。

令和2年における熱中症の発生状況(平成23年～令和2年)

(人)



死亡者数  
 全産業  
 製造業  
 建設業

0	0	2	0	1	0	1	3	0	1
16	9	21	18	9	22	16	41	30	43
4	3	3	5	0	8	1	10	8	8
2	2	7	4	3	3	2	8	2	12

○

○